

朝のち合わせ（５月２８日（金）） 校長より

<中間考査が終わりました>

○答案返却に当たっては、３つの評価を踏まえながら。

- ・学習の評価（生徒の成績判定）
- ・学習のための評価（先生の指導改善）
- ・学習としての評価（生徒による自己修正・自己調整）

※学習としての評価には、我が校で実践例あり。ぜひ参考に。

<全国学力テスト（小６・中３）>

○新学習指導要領（中学校は今年度から全面実施）の趣旨を踏まえた問題（特に、思考力・判断力・表現力等）を解いてみましょう。

○中学校の学びを踏まえ、高校の学びを展開していきましょう。

<感染症を徹底しながら生徒の学びをストップさせない>

○急きょ休まざるをえなくなった場合、授業等の対応は？

○出席停止を余儀なくされる生徒への対応は？

○備えあれば憂いなし（教科、学年、教務などと連携しながら）。

<湯本・遠野高校の打ち合わせ（５月２６日（水）>

○両校の教育内容検討委員会が、いわき湯本高校の特色ある教育内容、開校準備の進捗状況、今後の進め方、校舎方式の考え方等について確認。

○引き続き、各係において準備をお願いします。

<体も心も大切に>

○時間を上手に使って、体も心もリフレッシュしましょう。

朝の打ち合わせ（５月２７日（木）） 校長より

○県教委は県の指針となる新たな県総合教育計画の素案を示した。

○計画期間は２０２２年度から２０３０年度までの９年間。

○「学びの変革」によって資質・能力を確実に育成することなど、６つの柱が掲げられている。

○学校は、県教委の施策を通して、学びの変革を実践していく最前線である。

○県総合教育計画の素案を踏まえながら、あらためて我が校の教育実践を点検し、改善・工夫していきましょう。

朝の打ち合わせ（５月２５日（火）） 校長より

- 日々の「わかる」授業を構想するポイントは、「目標と評価の一体化」と「ドラマとしての授業」の二つ。
- メインターゲットを一つに絞り込み、授業後に生徒に生じさせたい変化を事前に想像することによって、具体的な生徒の姿で目標を明確化することが「目標と評価の一体化」。
- 目標と評価をセットで明確化した上で、シンプルでストーリー性を持った授業の展開を意識し、ヤマ場のある「ドラマとしての授業」を創る。一時間の授業のストーリーを導く課題・発問を明確にし、目標として示した部分について思考を表現する機会を設定する。

朝の打ち合わせ（５月２４日（月）） 校長より

- 教育という仕事については、無限保障的視点ではなく、限定保障的視点で。
- 限定保障の視点とは、やるべきことをハッキリさせ、確実に対応し、保障するという考え方。
- 線を引いて、対象範囲をハッキリさせる。
- 限られた人、モノ、金、時間などで、何ができるかをハッキリさせ、いつまでに、どのような方法で具体化していくか。
- 限定保障は戦線縮小ではないし、責任回避でもない。限定した内容を確実に保障しなければいけないので、責任が問われるもの。
- 以上を踏まえ、「学校の在り方の変革」（働き方改革）に取り組んでいきましょう。

朝の打ち合わせ（５月１７日（月）） 校長より

- 県内でも従来に比べ、感染力が強いとされるに変異株の感染が広がっている。
- 県内の県立高校において感染症対策を一層徹底。
- 特に、昼食時の「黙食」の徹底、下校時や部活動後の会食の自粛、部室の３密の回避など。
- 引き続き、感染対策を講じながら生徒の学びを保障していきましょう。